



発行所  
 十勝毎日新聞社  
 ©十勝毎日新聞社 2006  
 〒080-8688  
 帯広市東1条南3丁目  
 TEL(代表)0155-22-2121  
 集局 0155-22-2121  
 編告局 0155-23-2323  
 広売局 0155-24-2222  
 販事局 0155-22-7555  
 総務局 0155-24-2299

# 「カムイ」打ち上げ成功

## 気象観測用 小型ロケット HASTIC など実験

大樹航空公園

【大樹】NPO法人北「HASTIC」多目的航空公園北側原野」ロケット「CAMUI」海道宇宙科学技術創成センター(なほ)23日午前、大樹町で、実用気象観測用小型「カムイ」ハナリッド



晴れて無風の好コンディションの中、打ち上げられる小型ロケット(23日午前7時45分、大樹町多目的航空公園付近、山下僚撮影)

ロケット「80P無冷却モデル」の打ち上げ実験を行った。打ち上げは2回行われ、いずれも成功した。

今回の実験は、HASTICが公立ほこたて未来大学の依頼を受けて実施した。同ロケットは永田晴紀北大学院教授が開発。全長2・8メートル、重量19キロ、液体酸素を使ってポリエチレンを燃やすすシステム。従来型の液体酸素タンクに改良を加えたほか、同大学の学生が製作したGPS(全球測位システム)を取り付けられた空基型の超小型衛星(CANSAT)を搭載した。CANSATの飛行試験と、液体酸素タンクを改良した

ハイブリッドロケットの打ち上げを目的に行われた。

実験は晴れて無風状態の好コンディションの中、午前6時45分と同7時45分の2回行われた。カウントダウンの後、打ち上げられたロケットは高度約1キロまで上昇。途中で切り離されたCANSATは、自律制御された布製の翼のパラソイルを使い、上空を滑空した。

調整した結果、2回目の実験で成功した。満足している」と述べた。(北雅貴)

終了後記者会見したHASTICの伊藤副理事長は「実験はおむね成功だった。今後2年以内、このシステムを使い、ロケットを大型化し、高度数キロ打ち上げる実験を行う」と